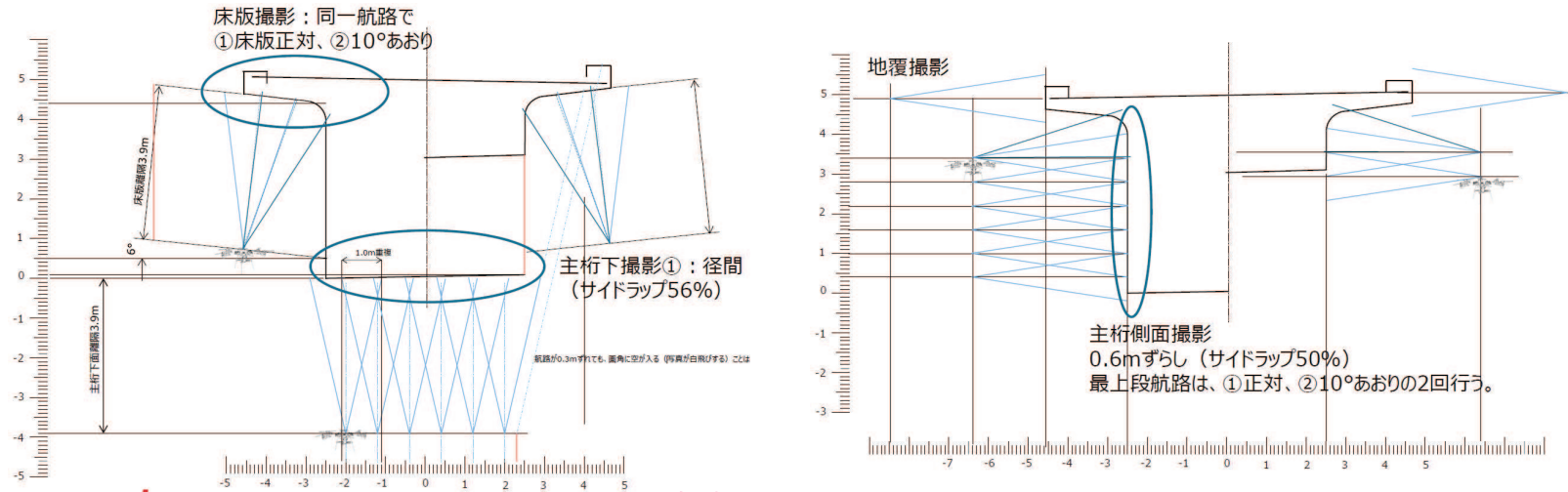
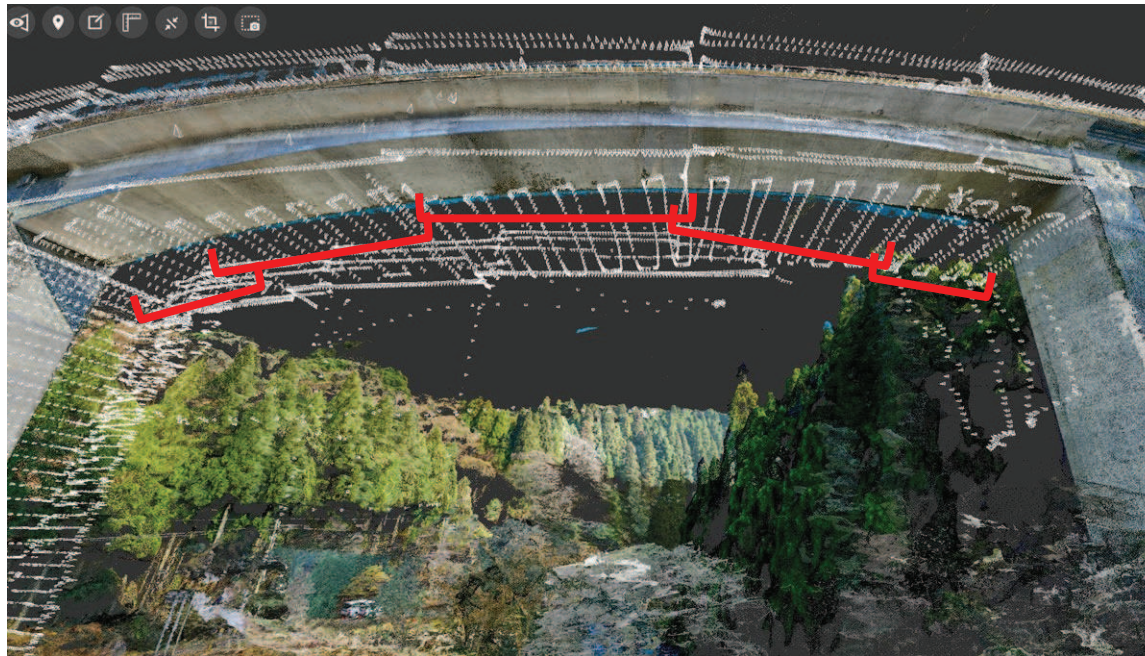


現地撮影（近接画像）



P1-P2間桁撮影：延べ3日間



橋梁形状（箱桁の形状）に合わせて、水平向き、上面向きを組み合わせ、部位ごとに撮影。
橋梁の線形と桁下面の形状（湾曲）を考慮し、桁間を5個に直線分割してフライトプランを作成。

現地撮影（近接画像）

総フライト数 47フライト

総飛行時間 約350分（約7分/フライト）

撮影枚数、容量 約14,000枚、約110GB



制御管理員

オペレータ

カメラオペレータ



近接画像 撮影例



橋脚側面



張出床版下面



橋脚角部

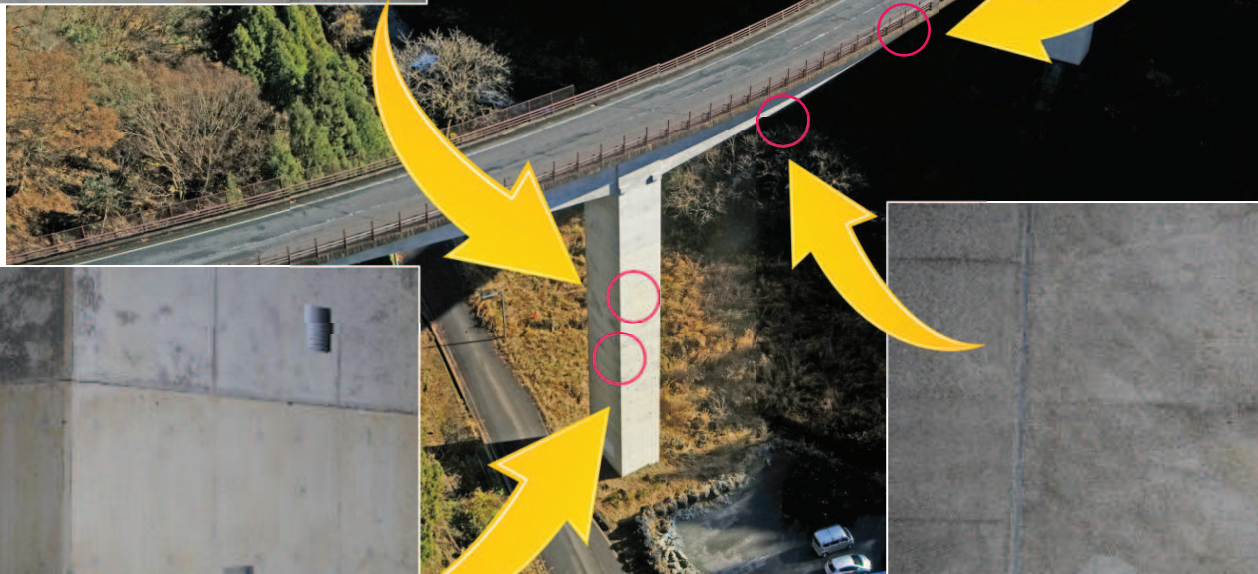


主桁下面

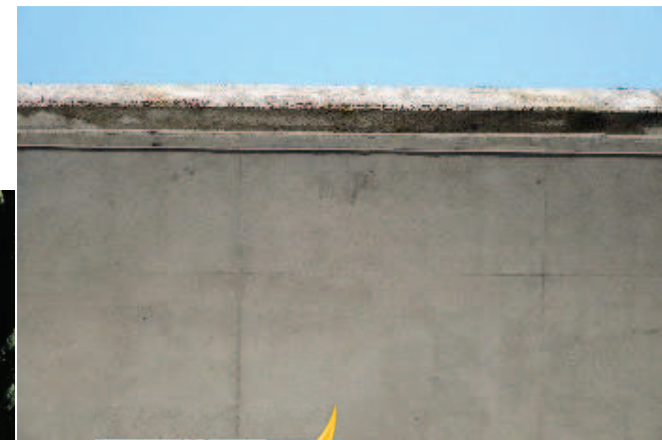
近接画像 撮影例



橋脚側面



橋脚角部



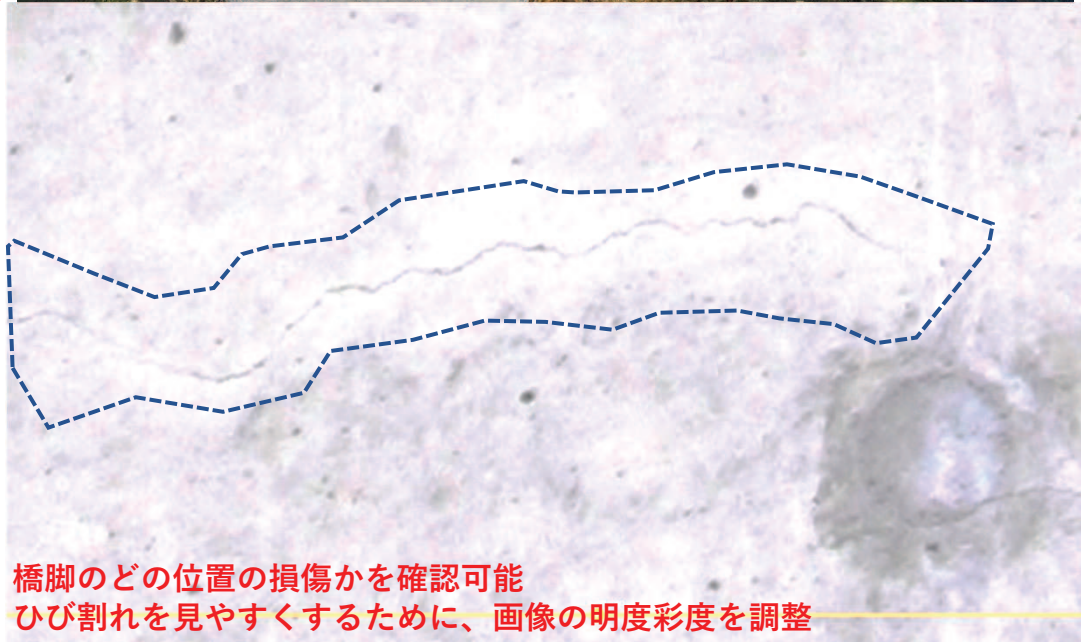
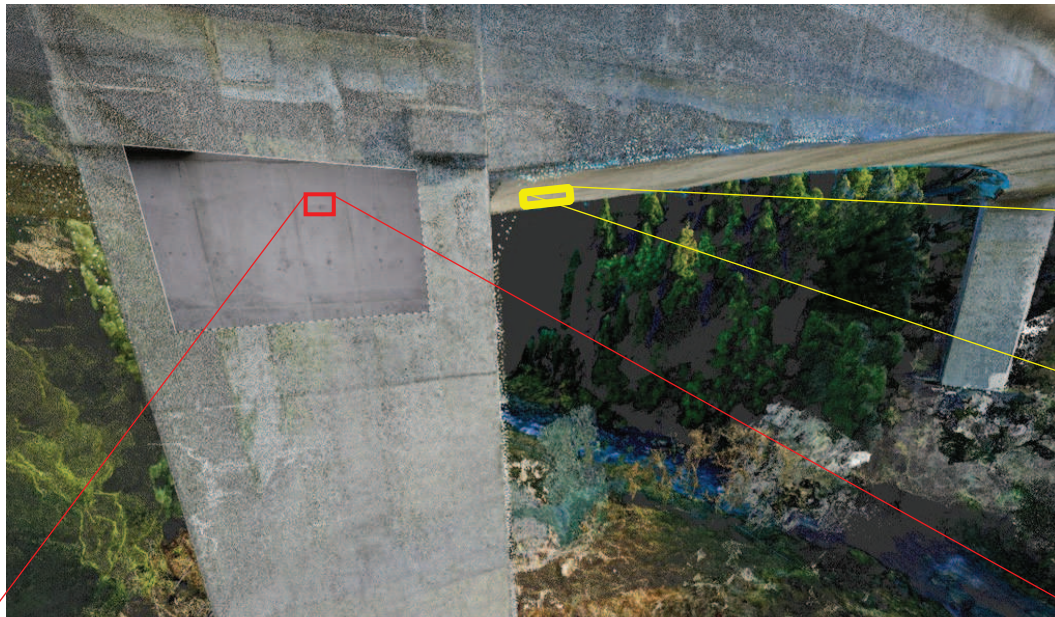
張出床版下面



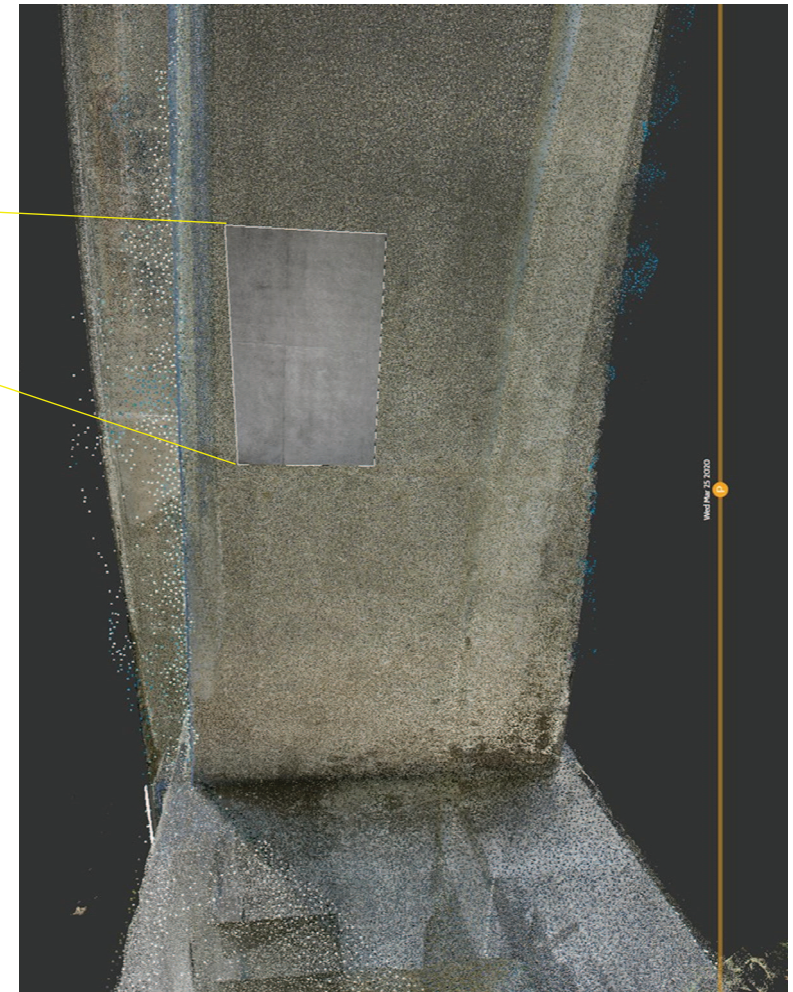
主桁下面

近接画像単体では位置判読が難しいため、3Dモデルとリンクさせることが有効??

近接画像 3Dモデルとのリンク



橋脚のどの位置の損傷かを確認可能
ひび割れを見やすくするために、画像の明度彩度を調整



類似画像が並ぶ床版下面の画像でも、
明確な位置が確認可能

画像の周辺は点群表示。

撮影範囲：2.4m × 1.6m